

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

藍住東小学校
「学力向上実行プラン」

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、様々な活動を通して思考力・判断力・表現力を伸ばす指導の工夫
- 言語活動を充実させた対話的な授業の実践

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

計画的な授業研究会や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習に前向きに真面目に取り組もうとする児童が多い。 ●学力の個人差が大きい。 ●級友の考えを最後まで聞く姿勢が身につけていない児童がいる。	・学習規律が確実に定着している。 ・基礎学力が向上している。 ・身につけた知識や技能を、生活の中で活用している。	・学習規律を発達段階に応じて視覚的に確認できるようにする。 ・日常的に PBS を行い、ミニテスト等を活用する中で、達成感を多く味わわせるようにする。 ・「ドリルタイム(15分)」を活用し、学習の積み重ねを行う。 ・ナビドリルを活用し、学び方や課題を児童が選択し、個に応じた学習を進められるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本の型があれば、自分の考えを話したり、発表したりすることができる。 ●自分の思いや考えを文章で伝えることに苦手意識を持つ児童が多い。	・自分の考えや思いを適切な言葉、方法で積極的に伝えている。 ・自分の考えを根拠と共に示し、相手に伝わるように表現できる。	・話型や文型の提示と練習をする。 ・聞く態度を指導し、「聞く」ことが相手を思いやることにつながることも着目させる。 ・考える時間・伝える時間を十分に確保する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習の習慣が身につけている児童が多い。 ●学習に対する姿勢が受動的な児童がいる。	・難しいと感じる課題でも、前向きに粘り強く取り組むことができる。 ・自ら学習課題を設定し、課題解決できるよう計画を立て、実践することができる。	・教材研究を行い、児童の知的好奇心を刺激する授業を行う。 ・PBS を行い、児童の学習意欲を高めるようにする。 ・学習の流れを提示し、見通しをもって、落ち着いて学習できるようにする。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

